

令和8年度沖縄県総合体育大会 開催競技における各競技専門部による熱中症対策

【 バレーボール 専門部 】

対 策	○or×
氷、アイスパック、救急セットの準備（会場担当）	
空調の効いた空き部屋を救護室として使用する。（会場担当）	
OS-1,スポーツドリンク、塩分チャージ等を準備する。（会場担当・各チーム）	
大会プログラムに熱中症予防の啓発資料を掲載する。	掲載済み
場内アナウンスによる水分補給を促す注意喚起を繰り返し実施する。 （会場担当・競技役員）	
医師又は、救護役員（看護師・養護教諭）を配置する。	手配済み
大会前の監督会議等において熱中症対策を徹底する。（会場担当・競技役員）	
試合前練習の際に、チームに対して選手の体調を確認する。（チーム担当者）	
試合中に救護担当者が選手の様子を観察する。（教護担当）	
チーム担当者が選手の給水状況を確認する。（チーム担当者）	
「暑さ指数（WBGT）」計測器を設置する。（会場担当・競技役員）	
必要に応じて、臨時に給水・休憩の時間を設定する。（会場担当・競技役員）	
試合後に、選手に対してクーリングケアダウンを行うよう指導する。（給水、アイシング等）（チーム担当者）	
各チーム、クーラーボックス（保冷バック）に氷嚢等を準備してベンチに持ち込む （チーム担当者）	
各チーム、キーパーをベンチに持ち込む。※アップゾーンに設置（チーム担当者）	

諸注意

- ・朝食や昼食をしっかり食べるよう指導する。
- ・睡眠不足にならないよう指導する。
- ・応援生徒（特に1年生）や保護者に、休憩しながら応援するよう声かけを行う。